

広報

いまり

No.464



がんばれ、がんばれの大声援

デイサービスで運動会 (関連記事2~5ページ)

'92
10月

〈人口〉男28,447人 女31,811人 計60,258人(前月比-6) 〈世帯数〉17,630世帯(9月1日現在)

長寿をみんなで

◎伊万里保健所主催の「おとしよりの家庭看護教室」(伊万里公民館)



応援します 在宅介護

人生80年が、あたりまえになってきました。老人福祉大会でも、歌ったり踊ったり。まだまだ元気です。一方、体の不自由なお年寄りもおられます。日常生活に、いつも介護や介助が必要となれば、本人にはもちろん、家族にも大きな負担がかかってきます。その負担を少しでもやわらげたい。そう願って、市は、ホームヘルパーの派遣、デイサービス、ショートステイの在宅福祉3本柱を中心に、介護をする人、される人を応援しています。支援センターも増設し、相談の窓口を広げました。

気軽にご利用を 支援センター

24時間体制で在宅介護の相談に応じる在宅介護支援センターが、昨年7月、立花町の

特別養護老人ホーム長生園に併設されて1年が経ちました。

当初は月50件足らずだった相談件数は月ごとに増え続け、ことしの8月には180件の相談があります。相談の内容は、左の表のとおりさまざまです。まさに在宅介護相談の総合窓口といえましょう。

ホームヘルパーの派遣を頼みたい、デイサービスやショートステイを利用したい。そんなときは、どうぞお気軽にご連絡ください。利用申請の手続きも代行します。

8月の相談実績

相談実人数	62人	
相談延人数	180人	
相談件数	180件	
相談内容の内訳	ホームヘルパー	7件
	デイサービス	4件
	ショートステイ	8件
	生活用具給付、貸付	2件
	介護指導	17件
	介護用品 器機紹介	54件
	手続き代行	31件
その他	57件	



支援センター

長生園 ☎22-3115
敬愛園 ☎27-2101

10月1日から 敬愛園にも開設

10月1日から、黒川町にある特別養護老人ホーム敬愛園にも支援センターが併設されました。主に牧島、黒川、波多津、南波多、大川、松浦地区からの相談を受け付けます。

喜び合いたい

ホームヘルパー派遣

おおむね65歳以上の、日常生活を営むのに支障がある人や、そうした人を抱えている世帯などをホームヘルパーが訪問し、介護や家事などのお手伝いをします。訪問は、週



ヘルパーに爪を切ってもらった藤谷さん(写真右)

2回程度です。ヘルパーは、手伝いの内容に応じて、社会福祉協議会か長生園(来年1月からは敬愛園も)から派遣されます。

伊万里市では、現在およそ90世帯の方が利用されています。費用は、所得に応じて1時間当たり250円～860円。低所得者は無料です。



デイサービス

おおむね65歳以上の体の弱いお年寄りを、週1回専用のバスで送迎し、入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練など各種サービスを行います。

デイサービスの施設は、いままでも長生園のセンターだけでしたが、10月1日から敬愛園にも併設されました。

今後は、下記の地区割で利用していただくこととなります。利用料は、両センターとも1日500円です。

〈センターの地区割り〉

- 長生園 伊万里、大坪、大川内、二里、東山代、山代
- 敬愛園 牧島、黒川、波多津、南波多、大川、松浦

短歌や陶芸を楽しんでいる

東山代町長浜

藤谷^{しょうちょう}正暢さん(80歳)

民生委員さんの紹介で、去年の7月から社協のヘルパーさんに来てもらっています。はじめは掃除や洗濯だけでしたが、今年8月からは長生園からも来てもらい、わたしの入浴を介助してもらっています。おかげで、病弱の家内(ゆきさん、68歳)に負担をかけないで済み、好きな短歌や陶芸を楽しんでいます。



①食後のひととき。中央の松尾ヨシノさん(77)は気持ちよさそうにウトウト。でも、フラッシュで起こしてしまい、すみませんでした。右から池田キンさん(86)、松尾スヤさん(78)、松尾さん、大串フ子さん(85)、高木タツさん(81)。(長生園のデイサービスセンターで)

旅館のおかみさん

「旅館に泊まって、おかみさんが明るいと、とても気持ちがいいものです。私たちもいつも明るく元気で、と心がけています」。長生園のセンターの職員はそう話します。お年寄りに絶えず見せていたのと同じ、あの笑顔で。



デイサービスセンターでの歩行訓練

ショートステイ

65歳以上の寝たきり老人や痴ほう性老人、18歳以上の重度身体障害者の皆さんを抱えている介護者が、病気や事故、冠婚葬祭、旅行、介護疲れなどで一時的に自宅で介護ができない場合に、短期間、特別養護老人ホームなどで寝たきり老人等を介護します。

- **施設** 長生園、くにみ、済昭園、敬愛園、18歳以上の重度身体障害者は長光園
- **期間** 原則として7日以内。ただし、期間延長が止むを得ないと認められる場合は、心要最小限の範囲で延長することができます。その場合は、延長手続きが必要です。
- **費用** 寝たきり老人等は

その他の主な在宅福祉サービス

(入浴サービス)

寝たきり老人や重度身体障害者の皆さんが介護なしではお風呂に入ることができない場合に、無料で、ほぼ2週間に1回、巡回入浴サービス車が自宅へ出向き入浴させます。

希望される人は、市福祉事務所へお申し込みください。

(日常生活用具給付)

65歳以上の寝たきり老人や

1日当たり1,970円で、18歳以上の重度身体障害者は1,370円です。

- **利用状況** 昭和63年度は3人で34日間の利用でしたが、年々、利用者が増え、平成3年度は50人で445日間の利用、今年度は120人で840日間の利用見込みです。
- **申込方法** 利用を希望される場合は、在宅介護支援センターまでお気軽にお申し込みください。

●今年4月にオープンした敬愛園。明るく家庭的な雰囲気です



一人暮らしの老人または重度身体障害者の皆さんの生活をお手伝いするため日常生活用具を給付します。用具には特殊寝台やマットレス、便器などがありますが、所得に応じて費用の負担が必要です。

希望される人は、市福祉事務所へお申し込みください。

(愛の一声運動)

65歳以上の一人暮らしで、他人と接する機会がない人に連絡員が1日1回訪問

農繁期は助かります



松浦町
久良木

小松星子
さん(29)

90歳のおばあちゃんを自宅で介護していますが、2.5%の梨を栽培しているため、出荷時期は忙しく、祖母を残して畑に出ていました。ショートステイのことを聞いたので、昨年8月に2週間ほど長生園に入所をお願いしました。設備もよく安心ですし、本人も長生園の方がいきいき見えます。本当に助かっています。農繁期にあわせて1か月ぐらゐの入所制度ができればもっと助かると思います。

します。

(紙おむつ支給)

寝たきり老人のいる所得税非課税世帯に1日2枚の紙おむつを支給します。市福祉事務所へお申し込みください。

費用は無料です。



●大川内町平尾の前田ツタエさん。月2回の入浴サービスが楽しみ

ご存知ですか ねたきりゼロへの10か条

長寿者番付

平成4年9月25日現在の市内の長寿者番付上位10名を発表します。(敬称略、同年齢は生年月日順です)

- 東横綱 山口 タカ 104歳
(黒川町椿原)
- 西横綱 岡部 サヤ 103歳
(瀬戸町漁港)
- 東大関 力武 トメ 101歳
(弁天町)
- 西大関 小隈 エイ 100歳
(二里町大里)
- 東関脇 梶原 キヨ 99歳
(黒川町畑川内)
- 西関脇 原田 シカ 99歳
(南波多町水留)
- 東小結 中山 イソ 99歳
(大川町長野)
- 東小結 西岡 峯次 99歳
(二里町川東)
- 西小結 金子 キク 99歳
(山代町久原2区)
- 西小結 中島 新一 98歳
(大坪町上古賀)

第十条	第九条	第八条	第七条	第六条	第五条	第四条	第三条	第二条	第一条
人の和 地域の輪	すすんで利用 アイサービス 寝たきりなくす	見つけ みんなで防ごう 閉	家庭でも社会でも よろこび	住みやすい アイデア生かし	手すりつけ 段差をなくし	用いす 行動広げる 機械の活	ベットの移動 移そう 車	「手は出し過ぎず」 自立の気	「手が出し過ぎず」 自立の気



歌って 踊った 老人福祉大会

第21回市老人福祉大会が9月2日、市民会館で開かれ、市内各老人クラブから1,150人のお年寄りが参加しました。会員25組による演芸発表や156点の趣味の作品展も行われ、楽しい一日となりました。

①舞台狭しと踊る姿は“若さ”が印象的でした

黒川町の山口タカさん

わたしゃあ まだ 104歳

市内最高齢で県内2番目の長寿者の山口タカさんは、明治21年8月20日生まれの104歳です。平成2年8月に病院にかかったあとは、この2年間、医者いらずで、耳が少し遠いだけで体はいたって健康です。食事事も家族と同じものを食

べ、特にくだものが好物で、トマトは毎日食べ、バナナは枕元に置いて眠るほど大好きだそうです。9月5日には、竹内市長がタカさんを訪問して「おばあちゃん、また来ましたよ。お元気そうですね」と、お祝いの羽根ぶとんとバナナ



を差し出すと、タカさんからは104歳の元気な笑顔がかえってきました。

平成4年第3回定例市議会

色絵太鼓乗唐子像を購入

伊万里市議会第3回定例会が、9月4日から21日まで18日間開かれました。今回の議会には、条例議案9件、一般議案2件、予算議案9件、人事議案2件、決算議案13件のあわせて35件の議案と報告1件が提出されました。審議の結果、決算議案を除くすべての案件が原案どおり可決され、継続審査となった決算議案は、今回の議会で設置された2つの決算審査特別委員会で審議されることになりました。

一般会計補正予算は10億6,505万円を追加して、予算の総額が201億9,196万円になりました。前年同期に比べて0.4%の伸びで、前年分には災害復旧費11億2,500万円が含まれていたため、この

分を除いた実質的な比較では6.31%の伸びとなりました。

今回の補正で、500万円の色絵太鼓乗唐子像を購入。陶器商家資料館で展示します。ご覧ください。

主な事業内容

- ▷ 国際陶芸アカデミー総会参加負担金 360万円
- ▷ 古伊万里文化の漂うまちづくり経費 101万円
- ▷ 伊万里・有田地区衛生処理組合負担金 8,102万円
- ▷ むらづくり条件整備事業費補助金 333万円
- ▷ 観光案内看板設置 800万円
- ▷ 道路橋りょう整備事業 1億5,615万円
- ▷ 山代中学校屋内運動場改築調査設計委託料 1,550万円
- ▷ 新図書館建設基本設計委託料 1,500万円
- ▷ 陶器商家資料館展示備品購入(色絵太鼓乗唐子像) 500万円

「東陵中学校」に校名決定

校章募集中

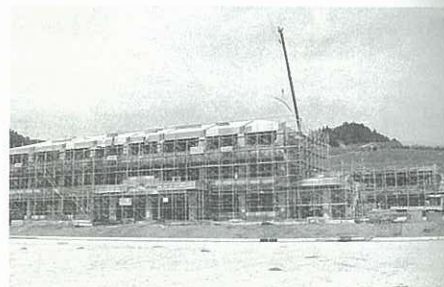
松浦中と大川中の統合中学校として、来年4月に開校する東部中の校名が「東陵中学校」に決定しました。これは、市が校名募集をしていたもので、291人から314点の応募があり、校名等検討委員会(小川右雄委員長、24人)で審査された結果、「東陵」に決定したものです。

「東陵」は、松浦町下分の松

永ヒサ子さん(60)の応募で、「太陽の出る東の大きな丘」という意味があり、語感的にも堂々とした響きがあります。

市は「東陵」の校名にふさわしい校章を募集しています。

- 応募資格 市内に居住する人
- 応募方法 官製はがきに、図案(形状、大きさは自由)と



その意味などを書き、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。

- 応募締切 10月31日(土)
- 応募先 市内立花台1-1-1 伊万里市教育委員会 総務課 (☎232111 内線456)

立つていくか楽しみである。言いたい放題を言ってくれといっても、自分の会や交流している会との話し合いが行われていないと突然やっても意見が出ない。また言いたくても言える場づくりが必要である。

分科会から全体会議までこのような会を主管する代表幹事や実行委員長のご苦労は大へんなもので、それだけ自分の仕事がおろそかになって家族や周囲の人に迷惑がかかるが、地域社会の活性化には若いリーダーの活躍が一番大切で、どうぞ励ましてやっていただきたい。

先般九州地域農政懇談会があり、九州各県から一人づつ市町村長が選ばれ、市長は私だけの出席であったが、伊万里市の二十一世紀における日本のモデル農業づくりやその中で若い人材が育ち他産業の者と交流して、農協青年部の総会に青年会議所の理事長が出席して挨拶している話をするなど、全国の市でそんなところは他にないので農業新聞に出してくれと要請があった。

若つかもんの参画できる市政を築きたい。(竹内)

国民年金はあなたが主人公

ご主人が会社退職 の場合は届け出を

会社勤め（厚生年金等に加入）のご主人の扶養となっている20歳から60歳までの奥さんは、国民年金の第3号被保険者に該当しますので、市役所年金係で届け出をしなければなりません。

この届け出により、奥さん本人が直接国民年金保険料の負担を行う必要はなくなります。

しかし、ご主人が会社を退職して厚生年金等の加入者でなくなった場合は、同時に奥さんも第3号被保険者ではなくなりま

すので、ご主人も奥さんも共に国民年金の第1号被保険者として届け出を行い、保険料の負担をしなければなりません。特に、奥さんの場合、届け出を忘れて第3号被保険者のままになっているとその期間は「保険料の未納期間」となり、将来の年金が少なくなったり、その期間が長くなると年金が受けられなくなりますので注意が必要です。

11月6日～12日は 年金週間

年金を身近で大切なものとして認識していただくために、11



月6日から12日までを年金週間としています。年金は「老後」というイメージが強いため、若い人には身近でないように思われていますが、国民年金制度には老後の保障のほか、不慮の事故による死亡や障害にも保障があり、保険料の一部は「還元融資事業」として、病院、体育館などの福祉施設設置への融資などに利用されます。保険料は納期を守って納めましょう。

下水道の施設見学会とパレード

清らかな水環境を次の世代へ

かつてのきれいな水、魚の泳いでいた水を次の世代へ引き継



● 駅通りをパレード

ぐことは私たちの責務です。

市では、清らかな水環境を回復するため、昭和63年度から下水道を供用開始し、今年の4月現在で処理区域は市街地を中心に240.5㌔となっています。

下水道法では、処理区域では供用開始から3年以内にトイレの水洗化をしなければならない



● 施設見学会には子ども連れなど50人参加

と定められていますが、当市の場合、約半数の家庭でトイレの水洗化がなされていません。このため、下水道について理解を深めてもらおうと、9月10日に街頭パレード、13日に浄化センターの施設見学会を行いました。

言いたい放題 in 伊万里 '92
が九月十三日市民会館で開かれた。

午前中は三つの分科会があり「知られとるや伊万里」「まとまっとるや伊万里」「若つかもんはおるや伊万里」が討議され、昼からは長崎オランダ村株式会社取締役である洪澤寿一氏の基調講演が行われ、そのあと全体会議でしめくくられたが、活発な意見が出て盛会であった。

いま伊万里市では若い人たちの活動が多方面に起こって、これまでも「夢コンサート」や「どっちゃんライヴ」など大がかりなものや「どっちゃん祭り」などのユニークなイベントなどを手がけて大成功であったが、今回の言いたい放題も青年会議所が主管をされて、皆さんでつくっている「伊万里の会」のメンバーがそれぞれに分担して行われ、これらの一つ一つがこれらの「町づくり」にどう役





★ わが家のPOPOPO ★

前田 ^{あきら}亮ちゃん
(1歳)
尚充・由里子さんの二男

1歳になりやっと歩けるようになり、どこにでも行けて、おじいちゃんやおばあちゃんをこまらせています。おにいちゃんと仲よくネ！(南波多町笠椎)

※申し込みを順次受け付けています。

ほほえみひろは

この広場はみなさんのページです。あなたの声をお寄せ下さい。

伊万里の会

21世紀へまちづくり提言

「言いたい放題 in 伊万里'92」が、9月13日、市民会館で開かれ、参加した200人は地域活性化の方向性について熱心な論議を展開しました。

伊万里青年会議所、伊万里商工会議所青年部、伊万里市農協青年部などで組織している伊万里の会が主催したもので、午前中に分科会、午後からは基調講演と全体会議が行われ、分科会では、伊万里のPRをテーマに

「知られとるや伊万里」、ネットワークづくりをテーマに「まとまるとるや伊万里」、後継者問題を考える「若つかもんはおるや伊万里」の3テーマについて活発な議論が行われました。

基調講演では、長崎オランダ村(株)取締役の洪澤寿一さんが「地域活性化とハウステンボ



ス」と題して講演し、全体会議では、「住みたい市日本一」をテーマに意見交換があり、会場の高校生からも公園整備や企業誘致について積極的な意見が出るなど伊万里市の21世紀の担い手が主役の会議となりました。

郷土の文化財

伊万里供日 トンテントン祭り



「おくんち」とは、九州西北部では秋祭りを意味しています。9月9日の重陽の節句、もしくは9月9日・19日・29日の「三九日」に由来しています。

伊万里市の実りの秋を祝って、伊万里市立花町の伊万里神社で行われる神幸祭が、伊万里供日(通称伊万里トンテントン祭り)です。毎年10月22日から24日までの3日間、「荒神輿」と「団車」が、トンテントンと打ち鳴らす三つ太鼓を合図に、双方激突してもみ合う勇壮なけんか祭りです。

伝承では、南北朝の故事にちなみ、楠木方と足利方の合戦を象徴しているといいますが、実際には江戸時代以来、陶磁器積み出しで栄えた伊万里津の発展の中で生まれた神事であろうと思われます。

祭りは、ぶっつけあった神輿と団車を伊万里川に落とし、川岸に引き揚げるはやさを競う最終日の「川落とし合戦」で最高潮に達します。

青年海外協力隊として アフリカで病害虫防除 喜多邦弘さん(32)



「連日、気温45度の日が続きます。夜は暑くて眠れないのでベットに水をまいて外で寝ていました」と話す喜多邦弘さん。

喜多さんは、二里町川東出身で佐賀大学農学部卒業。平成2年7月、青年海外協力隊としてアフリカ・ニジェール共和国へ赴任し、2年間の任務を終えて今年の8月に帰国されました。

喜多さんのニジェールでの任務は、バッタなどの病害虫の防除。ニジェールでは、毎年、家の壁が真っ黒になるほどの大量のバッタが発生し、商品野菜が大きな被害を受けるそうです。

喜多さんは、アガデス農業局の現地スタッフといっしょにキャベツやレタス、トマトなどの野菜についてバッタに動力散布機を使って農薬散布を行い、喜多さんの赴任中は幸いにも野菜の被害は少なかったそうです。

ニジェールでの生活は、電気が通っていないため夜はランプの明かりで過ごし、クーラーもないため喜多さんは外に出したベットに水をまいて眠る日が多かったそうです。

喜多さんは、「貴重な体験をしました。写真もありますので皆さんにも開発途上国の現状を知ってほしいと思います」と話されています。

ほほえ美さん



山田行子^{のりこ}さん(23)
南波多町水留(蟹座、A型)

日高医院に勤めて1年4か月。とっておきの笑顔で受付をしています。

短大時代がなつかしく、日曜日はよく佐賀へドライブします。彼とですって? いえいえもっぱら女性友だちと食べ歩き専門です。今、一番したいことは、お年寄りみたいです。温泉旅行をゆっくりすることです。

無事故推進委員会

伊万里焼の横断旗入れ設置

市役所前など市内7か所の横断歩道に、このほど焼き物でできた横断旗入れが設置され、利用者らの関心を集めています。

この横断旗入れは、伊万里無事故推進委員会(前田教一会長、42社)が陶青会(畑石真嗣会長、

14人)の協力を得て製作。直径16センチ、高さ40センチ。色絵や染め付けの見事な伊万里焼の容器です。横断歩道の両側に1基ずつ、今回は計14基が設置されました。同委員会では今後5年間で50か所に100基を設置する計画です。



設置作業中の委員会のみなさん(市役所前)

こんなすてきな旗入れ、やはり焼き物の里ならではのことでしょね。

同委員会は昭和62年、企業内の交通安全推進のため発足。無事故パレードや横断旗の寄贈などの活動を続けています。

四季の詩

引く鶴のたまの塙として伊万里

幸善町 夏秋仰星子

わが裡に残りておらむ清しさを

さがしに出で来ぬコスモスの丘

船屋町 原田美代子



歌ってください 伊万里の演歌

伊万里の名声を演歌で高めようと、2曲の演歌がつけられました。松浦町の松尾節二さん(67)作詩の「伊万里とんてんとん祭り」と三日月町の山崎剛昭さん(50)作詩・作曲の「ふるさとの灯り」の2曲です。市では、いまり秋祭りでこれらの演歌を市民の皆さんに披露することになっています。(曲についてのお問い合わせは商工観工課まで)

〈伊万里とんてんとん祭り〉

町と お山に ぼんぼり 燈し	今年一番 火の祭り でんと構えた 相生橋で	女 神輿と とんてんとんが ハッピー 姿で	海 の神 山 の神 いつも平和を ありがとう
-------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------

仁王立ち

松尾さんは、松浦町などでのカラオケ指導のかたわら作詩活動を続けられ、平成2年作詩の

「水仙花」は「全国レコーディング歌謡祭」歌唱部門優良歌唱賞を受賞しています。



松尾さん(右)と「水仙花」を歌う宮前直美さん

〈ふるさとの灯り〉

あ、 伊万里 ふるさとの灯り	ひびく太鼓が 夜空に舞う	祭りばやしか トントン の	白鳥寄りそう 今日も又	ネオンが揺らぐ 伊万里の川に
----------------------	-----------------	---------------------	----------------	-------------------

山崎さんは、伊万里が好きでこの曲をつくれ、市に寄贈されました。新天町の中島まり子さんが歌っています。



山崎さん(右)と中島さん

伊万里で親切に出会いました

東大阪市在住の三木節代さんから広報係に手紙が届きました。三木さんは松浦町藤川内出身で、今年のお盆に帰省した時に親切にしてくださいました。その手紙をご紹介します。

お心当たりの方は広報係までご連絡ください。(☎2111 内線207)

今年もお盆で、高校2年になる息子と8月に松浦町に帰省した時のことです。8月12日に息子がハウステンボスに行きたいと言いましたので、姉の小学1年の孫と2人を入口まで送って行き、帰りはバスで帰ってくるように、伊万里へ着いたら電話をするように、と言い聞かせて家で待っていました。

ところが、夜の8時を過ぎても電話はかかってきません。外は真っ暗、知らない土地ではぐれてしまったのではないかと家

じゅうで心配していました。もう心配の気持ちが高潮に達していたところ「ただいま」という元気な声とともに、うれしそうな2人の顔がありました。

とにかく、訳を聞きませう、「バスが無くて電車で帰ってきて、金石原で降りたけど無人駅のため電話をかけることもできないでいた。すると、女の人がいて、おじいさんのような人に電話はないのかと聞いてくれた。そのおじいさんは、どこまで行くのかと聞いて、送ってあげよ

うと家のそばまで送ってくださった」ということです。軽トラックのため、女の人を駅に残して先に送ってくださったそうです。息子が、これをどうせと差し出したお土産も「よか、よか」と言って受け取ってはくださらなかったそうです。

私は息子の話を聞き、いっしょにすぐ金石原駅まで行ったのですが、女の人姿もトラックもありませんでした。息子も気にかけて、幾度か駅まで行ったのですが、会うこともありませんでした。

知らない方の親切に、ただ一言、ありがとうございました、とお礼を言いたくて大阪に帰った今も心の中に残っております。

もし、お心当たりの方、ご面倒ではありますが、ぜひご連絡ください。



木須町の立川さん

竹馬をプレゼント

子どもたちに竹馬の乗り方を教える立川さん(左)



9月9日、木須町木須東の立川義秋さん(72)は伊万里小学校に手作り竹馬100組をプレゼント。夏休みにお孫さんに竹馬を作ってあげたところ、いつかお孫さんはなさないほど熱中。「その姿を見て思い立った」と立川さんはいいます。自分の山から竹を切り出し、試作を重ねながらの製作で、全部を作り上げるのに1か月ほどかかったそうです。学校では1、2年生の教科でも活用したいと話しています。

小・中学校夏季創作展

第28回市小・中学校夏季創作展が9月11日から15日まで、伊万里玉屋で開催されました。

会場には子どもたちが夏休み中に創作した図画や工作などおよそ1400点の作品が並べられ、家族連れや買い物途中の人たちが熱心に見て回っていました。

とくに、学校5日制がスタートした9月12日は、朝から多くの子どもたちでにぎわっていました。



釣連合会の救助訓練



伊万里釣連合会(福川春雄会長、9クラブ)の海難救助訓練が8月30日、伊万里川河畔であり、各クラブから30人が参加。消防職員の指導で、人工呼吸法、心臓マッサージなど救急手当の仕方やロープの結び方などを学んだほか、会員が救命具などを付けた釣りの格好で川に入り、海へ落ちた場合を想定。それをクーラーや釣ざおなど釣り具を使って引き揚げる、釣クラブならではの訓練も行われました。

くろねこかん公演

男性4人が大熱演

劇団・いまりシアターくろねこかんの第7回定期公演「ある日、僕らは夢の中で出会う。」が9月4日と5日の両日、市民会館でありました。この芝居に出演するのは男4人だけ。この4人が、刑事と誘拐犯にめまぐるしく変身しての熱演に、観客はすっかり見入っていました。10月7日には市民センターで、同センターの落成を記念して同劇団の「マインド」がアンコール公演されます。入場は無料です。





スポーツ交流会(上)

第24回市スポーツ少年団交流大会が国見台競技場と立花小で行われ、市内のスポーツ少年団から42チーム、366人が参加。ソフトボールとグラウンドゴルフで交流を深めました。



パッチワーク教室(上)

新天町の慶応堂書店2階では、パッチワーク教室の無料体験講座が開かれ、女子高校生らが参加しました。講座は、今後も毎月第2土曜日に開催される予定です。詳しくは(☎224600)へ。

学校週5日制スタート

スポーツやイベントで「受け皿」も多彩

学校週5日制がスタートして最初の第2土曜日となった9月12日。市内の小・中学校、高校、養護学校、公立の幼稚園は休みとなり、子どもたちは初めての土曜休日を体験しました。仲間どうし、あるいは親子で、スポーツ行事や各種講座に参加したり、ボランティア活動で汗を流したり。そんな1日を追ってみました。

親子のふれあい(右)

東山代町里にある技能開発センターは、やさしいパソコン教室、らく焼き入門、楽しい花台作りの3講座を実施。合わせて67組の親子が、創作や学習に楽しく取り組んでいました。



花のプレゼント(左)

東山代町の長浜子ども会は、プランターに植えたサルビアやなでしこなどを市役所や町内の郵便局など10施設にプレゼント。これからも土曜休日を活用して花作りを続けていくそうです。

<同和教育 No83>

同和教育は誤った知識を正すため

同和教育に対する疑問

その1

同和教育は、そつとしておけば自然になるのでは？

「学校で同和教育などする必要はない。子どもたちは純真で何も知らないのだから、同和問

題を教えることによってかえって差別意識を強めることになる」という意見が出されています。

しかし考えて見ると、今差別をしている大人たちもかつてはいずれも純真な子どもだったのです。それが差別をするようになったのは、長い間この問題を正しく教育される機会がなく、誤った言い伝えによる知識の結

果からではないでしょうか。

そこで、本当に一人ひとりの人権が正しく守られ、差別をしない、また、されない人間の育成をめざす教育と同和教育の解決をめざす行政とが強力にすすめられることによって「寝た子を起こすな」の考え方はなくなっていくものです。「そつとしておけば」という考え方では、この問題の解決には少しも役立たないだけでなく、人権意識を眠らせ、偏見が偏見を生み、結果的には差別の助長に手を貸すことになってしまいます。

大川中 松浦中 最後の運動会



松浦中の運動会(9/13)

大川中学校9月6日。
松浦中学校9月13日。
この日は両校の最後の
運動会となりました。

大川中の運動会では昼食の前
に、PTAから贈られた600個
の風船を生徒や先生、保護者も
加わっていっせいに大空へ。風
船には「いままでありがとう大
川中」など、思い出や願いが書
かれた短冊が結んであり、生徒



大川中の運動会(9/6)

たちはいつまでも風船の行方を
追っていました。

松浦中の運動会は、小雨が降
る中で行われましたが、最後の
中学校で元気いっぱい競技する
生徒たちに、保護者からさかん
な声援が贈られていました。

第10回正鶴会弓道大会

采女さん(有田)2連覇

伊万里正鶴会(松尾豊会長、30人)主催の弓道大会が9月13日、国見台弓道場で開催されました。毎年市内外からの参加者が多く、今回も佐賀市や佐世保市など県内外から94人が参加。バシッという弦の音と、的に向かって勢よく飛んでいく矢の音が静かな会場に響いていました。

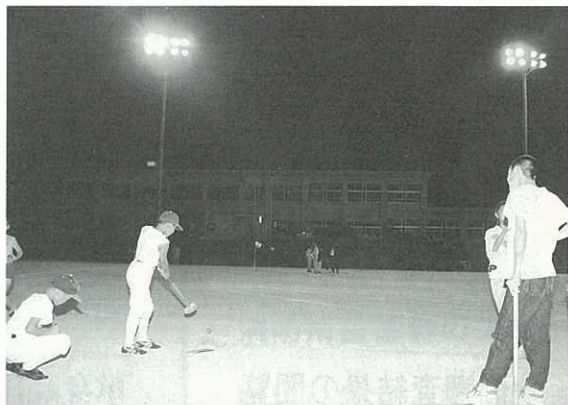
競技は、1回に矢を2本ずつ持って立ち、それを5回繰り返す^{たちしゅう}立10射で行われ、女子の部では有田町の采女^{うねめ}さんが、昨年に続き2連覇を果たしました。

上位の成績は次のとおりです。(敬称略)

- 〈男子〉1位 藤本安彦(有田) 2位 吉田和正(唐津) 3位 坂本哲也(唐津)
〈女子〉1位 采女珠恵(有田) 2位 竹下雪子(川副) 3位 原 智子(唐津)



大川内小にナイター施設



大川内小学校(地原 實校長、206人)の運動場に夜間照明施設が完成し、9月21日点灯式が行われました。学校の夜間照明施設としては大川中、波多津中、黒川小に次ぎ4番目。今後も町民の身近かなスポーツ施設として年次的に増やしていく予定です。

施設は、高さ22mのコンクリート柱4本に940ワツの高圧ナトリウムランプ32基がついたもので、平均照度は197ルク。6004平方mを照らします。総事業費1599万円をかけて整備しました。

大川内小のナイター施設の使用期間は4月1日から11月30日までで、使用時間は日没から9時30分まで。使用料は30分ごとに500円です。使用申し込みは大川内公民館(☎232774)で受け付けます。

市民センターへ事務所が移転します

松島町の市民センターのオープンに伴い市の事務所が次のとおり移転します。

社会福祉協議会

10月1日から事務所が市民センターへ移転します。

生活福祉資金の取り扱いや香典返しなどの寄付金の受け付け、共同募金・歳末助け合い募金、日赤社費やその他関連業務も市民センターで行います。移転後

の電話番号は②3931番と②3932番です。

保健センター

これまで保健センターで行っていた各種健診や予防接種などの業務は、10月1日から市民センターで行います。ただし、事務所は11月1日から移転しますので、お問い合わせなどは10月31日まではこれまでどおり保健センターへお願いします。

国民健康保険証が新しくなりました

国民健康保険の旧保険証の有効期限が9月30日まででしたので、新しい保険証を駐在員さんを通じて配布しました。

保険証が届いていないご家庭があれば、再点検をしますので市民課保険給付係までお知らせください。(☎②2111 内線222)

佐賀女子短期大学公開講座

●期日・内容

11月14日(土)

「比較文化を成り立たせるもの」

11月21日(土)

「生まれ変わった佐用比売」

11月28日(土)

「日本語と韓国語」

12月5日(土)

「日本の中の漢字文化」

●時間 午後1時半～3時半

●会場 伊万里市民センター

●対象 学生を除く市民で定員は120人

●受講料 無料

●申込 受講希望者は、官製はがきに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒848 伊万里市松島町73番地中央公民館までお申し込みください(☎②27105)

締め出そう 暴力団はまちの敵

10月11日から20日までの10日間、全国防犯運動が実施されます。市民みんなで、犯罪のない明るく住みよいまちづくりに努めましょう。

運動の重点

- 暴力追放(暴力団の排除)
- 少年の非行防止
- オートバイ盗・自転車盗防止

地価調査結果の閲覧

国土利用計画法に基づき、7月1日現在で佐賀県知事が実施した基準地の価格調査の結果が公表されました。これは、国が行う地価公示と同じく土地取引の指標となるものです。

伊万里市役所に県内分のすべての地価調査の関係書類がありますので、閲覧を希望される人は市役所までおいでください。

詳しくは、市企画課へお尋ねください。(☎②2111 内線403)

単身赴任者料理教室

●日時 10月20日、27日、11月4日の3日間
午後6時～8時

●会場 中央公民館

●対象 市内に居住する単身赴任者

●定員 20人(先着順)

●参加料 2,000円(材料費)

●申込 参加希望者は、10月15日までに、中央公民館まで電話でお申込みください。

(☎②27105)

参加しませんか 消防スケッチ大会

- 日時 10月11日(日)
午前9時～12時
雨天の場合も行います
- 会場 市消防本部
- 対象 市内小学生ならどなたでも参加自由

※画用紙は主催者で準備します。参加者全員に参加賞があります。詳しいことは、消防本部予防課まで。(☎②34311 内線53)

いまり童謡祭'92

素朴で美しい童謡を、園児やお年寄り、市民団体、外国の人たちといっしょに歌う「いまり童謡祭'92」を開催します。ご来場ください。

- 日 時 11月1日(日)
9時30分～12時30分
- 会 場 市民会館
- 出 演 保育園、老人クラブ、市民団体、外国人など12団体、400人
- 主 催 いまり童謡祭実行委員会

※詳しいことは、市福祉事務所 婦人児童係へお尋ねください。

(☎23111 内線258)

秋季農作業安全運動

10月1日から11月30日まで秋の農作業安全運動を行います。

市内では、平成3年中に80件の農作業事故が発生し、特に10月に多発しています。

水稲やみかんの収穫など農繁期における農作業中の事故に十分注意しましょう。

高齢者の雇用を

10月は「高齢者雇用促進月間」です。職業安定所では、高齢者の再就職を促進するため求人者と求職者の集団見合いによる合同選考会を開催します。

- 日 時 10月16日(金)
午後1時～4時
- 会 場 伊万里市農協会館
- 問い合わせ先 ハローワーク伊万里 (☎232131)

アルミ缶回収



- 缶の搬入 10月20日(火)
の午前9時までに搬入
- 搬入場所 市の各町公民館(二里は除く)、市農協各支所、南波多農協、大川町農協
- 回収時間 10月20日の午前9時から回収を開始しますので、あとの回収順番になる所は時間がずれ込む場合があります
- 問い合わせ先 市民相談室
(☎23111 内線226)

特設行政相談所

10月11日から17日の行政相談週間にあわせて、私たちの生活に関わりのある年金や保険、道路、税金、農地、登記、環境問題などの相談所を開設します。

- 日 時 10月15日(木)
午前10時～午後3時
- 会 場 市役所市民相談室
- 行政相談委員 井手敏男さん
古賀儀七さん

毎年10月1日から7日までは「法の日」週間です

佐賀県西部地区 高等学校弁論大会

明るい選挙の推進について、若者の主張を聞きましょう。

- 日 時 10月31日(土)
午後1時30分
- 会 場 伊万里市民センター文化ホール

今月の市民相談

場所:市民相談室10時～15時

無料・秘密厳守

- 法律 1.15(木)
- 社会保険 2.9.16.23.30(金)
- 交通事故 13.27(火)
- 行政 21(水)
- 人 権 6.20(火)
- 身障者 26(月)
- 青少年 22(木)
- 消費生活 5.12.19.26(月)
- 女性就業 7.14.21.28(水)

※住宅相談は、1日と15日(木)の午後1時から4時まで市役所市民ロビーで行います。

10月の市民会館行事

- 18日(日) 15時30分
伊万里市防火推進大会
- 11月1日(日) 9時30分
いまり童謡祭'92
- 11月5日(木) 14時 500円
浪曲ショー

消防用設備等の工事 整備に関する講習会

消防用設備等の工事または整備に関する講習が、佐賀市の県教育会館で行われます。

該当者は受講してください。

- 第1種 10月22日 9時～
 - 第2種 10月23日 〃
 - 第3種 10月27日 〃
 - 第4種 10月29日 〃
 - 第5種 10月28日 〃
 - 申込期間 10月1日～10月12日
- ※申し込み、問い合わせは、市消防本部予防課へ (☎234311)



松浦保育園児とお年寄り 交通のきまりを守る交流会



◎おまわりさんと交通安全の勉強。園児もお年寄りも真剣です



◎信号をよく見て渡ろうね

松浦保育園（原 和子園長、70人）で、9月8日、園児と松浦町老人クラブ（渡辺正美会長、420人）との交流会が行われ、園児と30人のお年寄りが交通安全について熱心に勉強しました。伊万里警察署の原憲司部長から「夏休み中に、唐津で3歳の園児が飛び出し事故で亡くなっています。また、お年寄りの運転中の事故が増えています。事

故には気をつけて」などの話を聞いたあと、園児は交通安全の歌やおうぎを披露しました。運動場では、紙で作った100円玉でおもちゃなどの買い物をする交通ゲームが行われ、園児とお年寄りはビニールで作った横断歩道を渡って買い物をしました。このあと昼食会もあり、園児とお年寄りは楽しい秋の一日を過ごしました。

統計グラフコンクール

力作ばかりで審査も大変

統計グラフコンクールの審査会が9月5日、市役所でありました。小中高校生に統計資料の作り方や利用のしかたを学んでもらおうと、市が毎年実施しているものです。ひとりではがんば

った作品。グループで知恵を出し合った作品。合わせて159人から81点の作品が集まりました。審査の先生たちは、作品が並べられた会場で、行ったり、来たり、立ち止まったり。すぐれた作品が多かったからでしょう。講評では、「特に中学生の部では、学校週5日制の問題、出生率の低下など、社会で問題になっている点をうまくグラフに表している」とのことでしたが、「こじんまりとまとめないで、訴えたいテーマがまず目に入ってくるレイアウトを考えてほしい」と注文もありました。

◎二部（小四〜六年）特選
松浦小の江口智美さん、大串美咲さん、百武いつ子さんの作品

◎三部（中学生）特選
大川中の田口景子さん、久保美里さんの作品

◎一部（小一〜三年）特選
東山代小の田中知希くんの作品